

地域密着型金融の推進について

中国銀行

目次

・ 地域密着型金融の推進に関する当行の位置づけ	2
・ 地域密着型金融の推進に関する基本方針	3
・ 具体的な取組み内容	4
・ 平成26年度の主な取組み	
(1) 創業・新事業支援への取組み	5
(2) ビジネスマッチングへの取組み	6
(3) 海外ビジネス支援の強化に向けた取組み	7
(4) 経営改善・事業再生支援に向けた取組み	8
(5) 目利き能力の向上に向けた取組み	9
(6) 事業承継支援への取組み	10
(7) 地方創生への取組み	11
(8) 地方公共団体との連携強化	12
(9) 環境・エネルギー事業、農業ビジネスへの支援強化	13
(10) 医療・介護事業への支援、産学官金連携の強化	14

地域密着型金融の推進に関する当行の位置づけ

経営理念

自主健全経営を貫き、ゆるぎない信頼と卓越した総合金融サービスで、地域社会とともに発展する

当行では、地域のお客さまに卓越した総合金融サービスをご提供することを通じて、地域社会の活性化・持続的な発展に貢献してまいりたいと考えております。そのためには、融資などに代表される資金供給者としての役割に加えて、創業・新事業支援、成長支援、経営改善・事業再生支援、事業承継など、お客さまのさまざまなライフステージに応じた取組みを通じ、地域経済の活性化を支援していくことが重要な課題であると考えています。

平成26年度にスタートした中期経営計画『ちゅうぎん Heart 2014』では、「地域社会・お客さまと相互発展する好循環を形成する」をメインテーマとし、お客さまの課題に最適なソリューションをご提案できる地域金融機関を目指し、各種施策を実施してまいります。

経営理念・中期経営計画における各施策を通じ、地域金融機関としての社会的責任を着実に果たすことにより、地域密着型金融の推進に積極的に取り組むとともに、引き続き更なるサービス向上に努め、地域社会の活性化・発展に貢献してまいります。

【中期経営計画の概要】

詳しくは中国銀行ホームページをご覧ください

- 名称 『ちゅうぎん Heart 2014』
- 期間 平成26～28年度（3年間）
- メインテーマ
「地域社会・お客さまと相互発展する好循環を形成する」



当行では、以下の3つの基本方針をもって、地域密着型金融を進めてまいります。

1. お客様のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

当行では、お客さまとの日常的・継続的な取引を通じて信頼関係を強化し、財務面・事業面での経営課題を把握し、必要に応じて外部専門家等とも連携してコンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

(1) 創業・新事業支援、販路獲得・事業展開支援

専門スキルを持つ人材の育成および営業店行員向け研修会や本部行員による同行訪問の拡充によりコンサルティング機能の強化を図ります。

(2) 経営改善・事業再生支援分野

営業店と本部が一体となった経営改善サポート活動を一層強化することで、お取引先企業のライフステージ等を見極めたうえで、適時に適切なソリューションを提案します。また、外部専門家や専門機関を積極的に活用することで、経営改善・事業再生支援分野のサポート手法の高度化を図ります。

2. 地域経済の活性化への貢献

当行では、地域経済の活性化に向けて、各種の地域情報を収集・分析し、引き続き産学官連携への積極的な参画を果たすとともに、成長分野の育成支援やNGO等と連携した地域振興や地域貢献への取組みを強化していく方針です。

そのために、各種研修などにより若手行員をはじめとした行員の融資スキル(「目利き」能力)の向上を図るとともに、農業ビジネス等の新分野に対する支援態勢強化を進めていく方針です。

3. 地域社会やお客さまに対する積極的な情報発信

当行では、地域密着型金融の取組みについて、具体的な活動やその成果を積極的に情報発信し、今後とも地域のお客さまに信頼され支持されるよう、更なるサービス向上に努めていく方針です。

具体的な取組み内容

当行では、「地域密着型金融」の推進に向け、各項目について以下の取組みを推進しております。

1. お客様のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

創業・新事業支援

- ▶ベンチャーファンドや証券子会社を活用したお取引先の創業・新事業支援
- ▶外部専門機関や他の金融機関との連携による地元企業へのサポート拡充

事業拡大支援

- ▶ビジネスマッチングによる取引先の販路拡大支援
- ▶取引先の海外進出支援への取組み

経営改善・事業再生支援

- ▶ちゅうぎん再生支援プロジェクト(通称「Vサポート」)活動の進展
- ▶企業再生ファンドや外部専門機関との連携・積極活用
- ▶目利き能力の向上

事業承継等支援

- ▶相続対策のコンサルティング業務への取組み
- ▶後継者・若手経営者の育成支援
- ▶外部専門家との連携

2. 地域経済の活性化への貢献

成長分野の育成支援に向けた態勢強化

- ▶アグリビジネスへの支援強化
- ▶環境・エネルギー事業への支援強化
- ▶医療・介護事業への支援強化
- ▶産学官金連携による地域振興や地域貢献

3. 地域社会やお客様に対する積極的な情報発信

HP、各種リリース等を通じた情報発信

- ▶地域経済の活性化を目的にした「産業クラスター金融会議岡山地域分科会」の主催
- ▶大学コンソーシアム岡山に「ちゅうぎん『金融知力』講座」を開講

平成26年度の主な取組み (創業・新事業支援)

地域一丸となった創業支援への取組み

開業率向上による地域活性化と、域内雇用創出にむけて、各地方公共団体と連携を行っております。

(具体的な取組み事例)・・・おかやま創業ネットワークへの参画

平成26年7月 当行は「おかやま創業ネットワーク」へ参画いたしました。「おかやま創業ネットワーク」とは、岡山市と岡山市内の金融機関、商工会議所、商工会など13団体が連携して創業者を支援し、地域の活性化と雇用の確保を目指すものです。

「おかやま創業ネットワーク」への参画に続き、倉敷市、津山市、笠岡市、真庭市等、各地方公共団体との連携も実施しております。

(具体的な取組み事例)・・・新規創業融資制度の新設

岡山県および岡山県信用保証協会と連携し、平成26年11月「新規創業制度(結芽:ゆめ)」を新設いたしました。

同制度融資の平成26年度の利用実績は、10件、39百万円となっております。

ちゅうぎん新規創業融資制度 **結芽**

ちゅうぎんはあなたの“ゆめ”実現を
全力でサポートします!!

中四国で初めて、地域金融機関と日本政策金融公庫および信用保証協会の三者が連携して、創業支援に取組む旨の覚書を締結しました。

(具体的な取組み事例)・・・日本政策金融公庫・岡山県信用保証協会との連携

平成27年2月 当行は日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会と「創業支援等に係る業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。最初の取組みとして、平成27年3月2日に約40名の参加者を対象に「ちゅうぎん創業支援セミナー」を三者合同で開催いたしました。次の取組みとして、創業ガイドブック「あしたの経営者のための創業ガイド」を三者の共作で作成いたしました。



日本政策金融公庫、岡山県信用保証協会との調印式



創業ガイドブック

「あしたの経営者のための創業ガイド」

創業・新事業支援制度の活用

投資事業組合を活用した投資により将来性成長性のあるベンチャー企業を応援しております。

ベンチャーファンド「中銀投資事業組合4号」による平成26年度の投資実績は140百万円となっております。現在までのベンチャーファンドの投資実績65件、1,358百万円となっており、うち8社の上場が実現しました。

平成26年度の主な取組み (事業拡大支援)

ビジネスマッチングへの取組み

お客様の販路拡大など本業サポートの一環として、各種商談会の開催やビジネスマッチングの場を提供しております。

(具体的な取組み事例)・・・平成26年度に開催した主な商談会

当行主導で開催したセミナー・商談会 (代表例)

商談会名	開催地	内容
東急ハンズ岡山店 開業記念商談会	岡山 高松	平成26年6～7月の3日間にわたり、岡山・高松で販路拡大支援ならびに地場産業振興を目的として、東急ハンズとの商談会を開催。地元が誇る幅広い商材を国内外に店舗展開する総合専門小売業に売り込むことができる希少な機会であることから、追加開催の要望が強くあり、平成26年9月には第2回目の商談会も開催。合計約250社の個別商談会が行われました。
ぐるなびセミナー	岡山	平成26年10月 日本最大級の飲食店情報検索サイト「ぐるなび」を運営する(株)ぐるなびとビジネスマッチング契約を締結。これにあわせ、飲食店や生産者向けに「ぐるなびセミナー」を開催し、飲食店と生産者の交流や販売促進相談を行いました。

他の金融機関等と共同で開催した商談会 (代表例)

商談会名	開催地	内容
地方銀行フードセレクション2014	千葉	全国地銀共催。地元の食材サプライヤーに全国へ向けた販路拡大の場を提供。
モノづくり企業ビジネス マッチングフェア	千葉	全国地銀共催。地元の製造業者に全国へ向けた販路拡大の場を提供。
FBC上海2014 日中ものづくり商談会	上海	今回で9回目の開催となる上海での合同商談会では、製造業に特化し、中国国内から約4,500社が商談相手として来場。



「東急ハンズ岡山店商談会」の開催



「ぐるなびセミナー」の開催

(具体的な取組み事例)・・・JRとの共催で「晴れの国うまいもの市」を開催



「うまいもの市」での実売風景

平成26年12月に、今回で4回目となる「JR・中銀プレゼンツ 晴れの国うまいもの市」を開催しました。岡山県内各地から当行のお取引先10社が出展され、自慢の特産品でクリスマスイベントを大いに盛り上げました。

平成26年度の主な取組み (事業拡大支援)

海外ビジネス支援の強化に向けた取組み

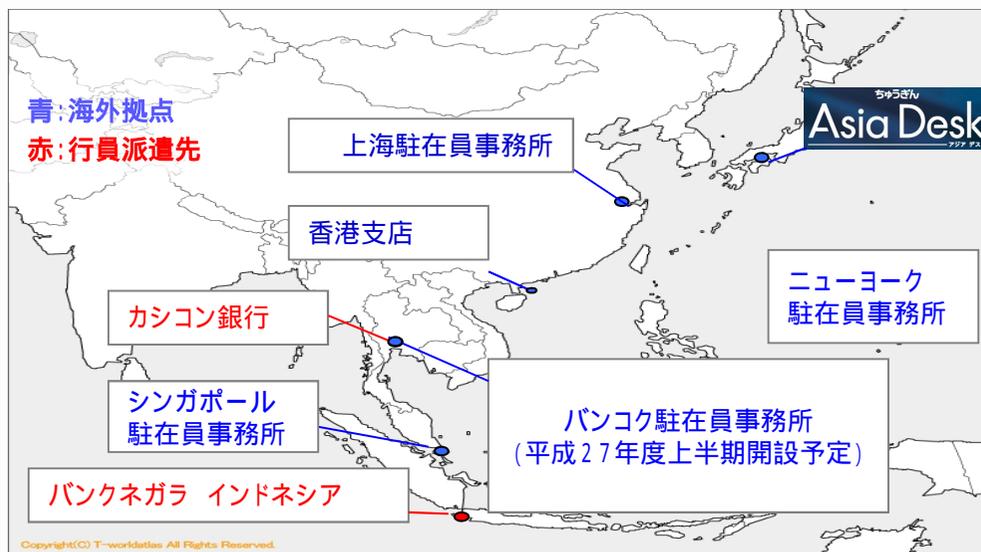
当行では、お取引先の海外進出をサポートするため、海外進出支援態勢の強化を図っております。

(具体的な取組み事例)・・・業務提携の幅を広げ、支援体制を拡充

平成26年7月 国際会計・税務・経営全般のノウハウ提供を目的とし、太陽グラントソントン税理士法人等と業務提携を行いました。
平成26年10月 インドネシアやマレーシアなどのイスラム圏におけるビジネス支援のため、一般社団法人ハラル・ジャパン協会と業務提携いたしました。

(具体的な取組み事例)・・・クロスボーダーローンの取組み強化

平成26年5月 お取引先のタイ現地法人向けに国際協力銀行との協調融資を実行いたしました。タイにおける自動車部品製造工場建設資金として有効に活用されております。
平成27年1月 当行で初めてとなるメキシコ現地法人向けの直接融資を実行いたしました。メキシコにおける自動車部品製造工場での製造にかかる運転資金として有効に活用されております。



上記以外の業務提携金融機関
(中国)バンクオブチャイナ 中国工商銀行 交通銀行 (フィリピン)メトロポリタン銀行
(インド)インドステイト銀行 (台湾)中国信託商業銀行
(ベトナム)ベトコム銀行 (アジア各国)スタンダード・チャータード銀行 など

(具体的な取組み事例)・・・セミナー・商談会による積極的な情報発信

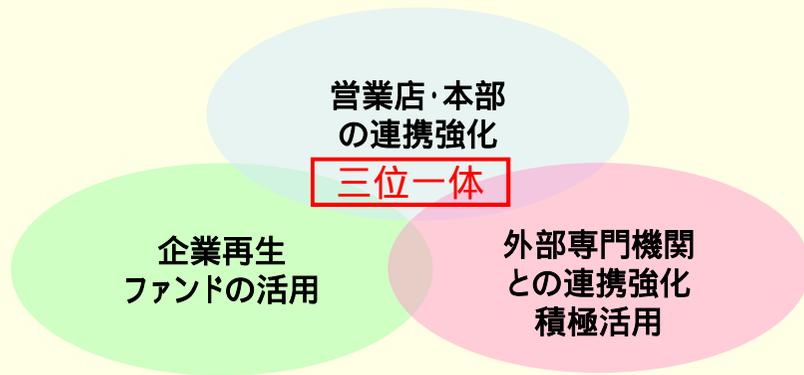
開催日	セミナー・商談会名
H26.4	アセアン進出セミナー
H26.6	香港・華南地区 日系企業ビジネス交流会
H26.6	メキシコセミナー
H26.7	中小企業のための海外事業展開セミナー
H26.9	FBC上海2014 (日中ものづくり商談会)
H26.9	ASEANビジネスセミナー ~ アセアンにおけるビジネスチャンスと進出事例 ~
H26.9	青島・地方銀行合同企業交流会
H26.10	メコンの宝石ーラオスミニセミナー
H26.11	チャイナビジネスセミナー&交流会 in 上海 2014 秋
H26.12	地銀合同セミナー・交流会@広州
H27.3	TSUBASAプロジェクト参加行共催 2015 上海ビジネスセミナー
H27.3	インドネシアセミナー

平成26年度の主な取組み (経営改善・事業再生支援)

ちゅうぎん再生支援プロジェクトについて

当行では、「ちゅうぎん再生支援プロジェクト」(通称:「Vサポート」)を立上げ、お客さまの真の経営改善・事業再生支援に向けたコンサルティング活動を積極的に展開しております。

(「Vサポート」活動のイメージ図)



営業店・本部の連携強化

営業店 … 「再生支援担当者」を任命
本部 … 「再生支援チーム」を設置 } 一体となった活動

企業再生ファンドの活用

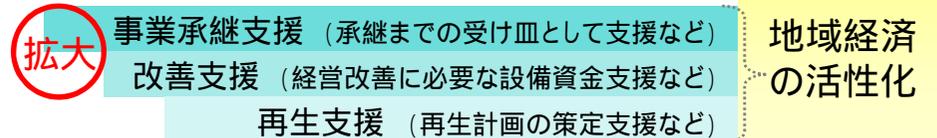
企業再生に向けた「おかやま活性化ファンド」の活用 (50億円)
運営会社へ行員3名、長期トレーニー2名を派遣

外部専門機関等との連携強化・積極活用

「中小企業再生支援協議会」へ統括責任者、サブマネージャーを派遣
国の「専門人材派遣事業」等の活用

(具体的な取組み事例) ・ 企業再生ファンドの利用範囲拡大

平成26年9月 企業再生ファンド「おかやま活性化ファンド」の投資対象を改善資金や事業承継などにも活用できるよう拡大いたしました。
再生支援にとどまらない地域経済全体の活性化支援に対応してまいります。



「おかやま活性化ファンド」の平成26年度の活用状況は、債権買取:3件、出資:2件となりました。
他にも複数の案件を進めております。

(具体的な取組み事例) ・ Vサポート先に対する融資実績
および債務者区分ランクアップ実績

当行では返済条件変更先の新たな資金ニーズに対応すべく「ちゅうぎんVサポートローン」の利用促進に取り組んでおります。
平成26年度の「Vサポートローン」活用状況は、113件、989百万円となりました。

中期経営計画において、Vサポート活動先の債務者区分ランクアップ目標を設定しております。

平成26年度の債務者区分改善状況は、次のとおり計画を大幅に上回る結果となりました。

計画:110先

実績:235先

目利き能力の向上に向けた取組み

当行では、担保・保証に過度に依存することなく、お取引先企業の技術力や成長性、事業の採算性や将来性を適切に見極めた融資を促進するために、行員に対して「目利き」能力の向上に向けた各種研修・休日講座などを実施し、人材育成に取り組んでいます。

(具体的な取組み事例・・・平成26年度に実施した主な研修・トレーニー・休日講座)

研修名	目的
再生支援担当者研修会	真の経営改善・事業再生支援に向けた活動におけるコンサルティング能力の向上を図る
融資事案研究セミナー	実際の融資事例を通じて企業実態把握のポイントを習得し、適切な経営改善支援を行うための能力向上を図る
中小企業再生支援協議会版 再生計画策定研修会	中小企業再生支援協議会の「新たな再生計画策定支援スキーム」の内容や趣旨を理解し、収支・資金繰り・財務改善の具体策立案、事業計画策定能力の向上を図る
現状分析・資金繰り実践セミナー	企業の経営実態を把握するための現状分析・資金繰り分析手法を習得し、コンサルティング能力の向上を図る
経営改善計画策定セミナー	中小企業の経営改善計画の策定をサポートできる人材育成のため、実効性のある計画の策定ポイントを習得する
事業再生業務トレーニー	「おかやま活性化ファンド」の運営会社における期間1年のトレーニー。中小企業に対するコンサルティング手法および再生支援のノウハウ等、専門性の高い知識を習得する
経営改善サポートトレーニー	現状分析・計画策定・支援協議会等の外部機関との連携などを実践を通じて習得し、経営改善支援の能力向上を図る
企業審査セミナー	企業審査のスキルの習得により、適切な経営支援を行うための能力向上を図る
工場見学セミナー	実際の工場(製造現場)を見学することにより、目利き能力の向上を図る

平成26年度の主な取組み (事業承継等支援)

事業承継支援への取組み

地元企業が抱える事業承継などの経営課題に関する相談受け入れ態勢を強化しております。

平成26年度は282件の事業承継に関するご相談に対して支援活動に取組みました。

相談件数は本部専門部署関与分のみの実績、前年対比 + 42件

当行では、平成13年度に「M & A業務」を、平成18年度に「事業承継コンサルティング業務」を開始しており、平成27年3月末現在、事業承継の本部担当5名、M & A業務の本部担当4名、各営業店(個人特化店を除く)に配置している128名の営業店FAを中心とした体制で業務にあたっています。

今後につきましても、お取引先企業の事業承継ニーズに応えるため、専門スキルを持つ人材の育成および営業店行員のレベルアップを行い、より一層の体制強化を図ってまいります。

(具体的な取組み事例)・・・相続・事業承継関連の各種セミナーの開催

地元の次世代を担う後継者・若手経営者を対象に「後継者・若手経営者育成セミナー」を開催しました。
平成26年度は、9～2月の間に合計10回の講義を行い、36名の若手経営者の方々に参加いただきました。
中小企業経営者の方、個人顧客の方を対象に、岡山・福山・高松の各会場においてそれぞれ年に2回(計6回)、「相続・事業承継セミナー」を開催いたしました。

(具体的な取組み事例)・・・種類株を活用した後継者への事業承継

(事業承継対策前の問題点)

1. 議決権...オーナー家の議決権割合が特別決議事項の議決可能割合に満たない
2. 従業員保有株式...退職した従業員が株式を保有し続けた際のリスクがある
(株式が分散、少数株主の権利行使による株主総会の運営阻害等)
3. 相続対策...自社株評価が高額、また非金融資産の割合が大きく遺産分割や相続税負担の問題がある

業 種	製造業
資 本 金	50百万円
売 上 高	3,000百万円
従 業 員 数	40名
発行済株式数	普通株 50,000株
会 社 の 規 模	大会社
相続税法上の株価	1株 50,000円

株 主 構 成	社 長	20%
	配偶者	10%
	長男(後継者、現在専務)	20%
	次男(現在常務)	10%
	取引先	10%
	従業員	30%
社 長 個 人 資 産	相続財産 : 1,000百万円	
	うち金融資産 : 100 百万円	
	うち不動産 : 400 百万円	
	うち自社株 : 500 百万円	
法 定 相 続 人	配偶者、長男、次男の3名	

社内には長男、次男が役員として存在するが、長男を後継者とする予定

(解決策)

ステップ1.

従業員保有株式を種類株式に転換
(無議決権・配当優先株)

ステップ2

従業員持株会を組成し退職時の
取扱いを明確化
将来的な少数株主の問題を回避

【ステップ1】持株割合と議決権割合の変化

株 主	持株割合		議決権割合	
社 長	20.0%	20.0%	20.0%	28.6%
配偶者	10.0%	10.0%	10.0%	14.3%
長男(後継者)	20.0%	20.0%	20.0%	28.6%
次男	10.0%	10.0%	10.0%	14.3%
取引先	10.0%	10.0%	10.0%	14.3%
従業員	30.0%	30.0%	30.0%	0%

ステップ3.

社長と配偶者から長男へ
相続時精算課税制度を活用した
生前贈与と譲渡を実施
株式を含む相続財産の円滑な移
転準備、退職金や株式譲渡金に
よる納税資金の確保が実現

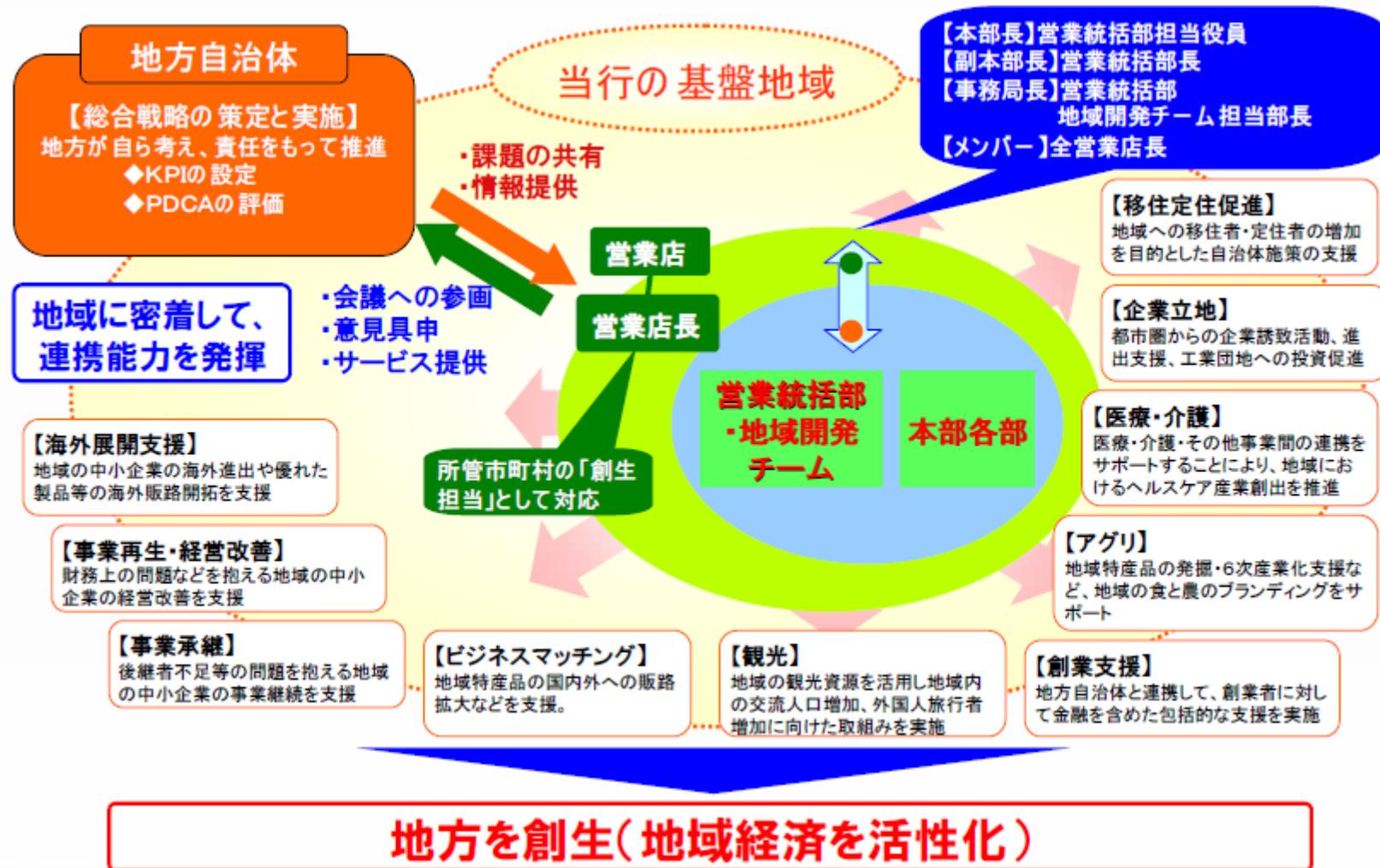
【ステップ3】持株割合と議決権割合の変化

株 主	持株割合		議決権割合	
社 長	20.0%	0%	28.6%	0%
配偶者	10.0%	0%	14.3%	0%
長男(後継者)	20.0%	50.0%	28.6%	71.4%
次 男	10.0%	10.0%	14.3%	14.3%
取引先	10.0%	10.0%	14.3%	14.3%
従業員	30.0%	30.0%		0%

平成26年度の主な取組み (地方創生)

まち・ひと・しごと創生総合戦略体制の確立

地域の発展なくして中国銀行の発展はないという理念のもと、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対する行内体制を構築しました。
各営業店長を地方創生のメンバーと位置付け、地方版総合戦略策定会議等への参画や意見具申、各種サービスの提供等、積極的な活動を進めております。



平成26年度の主な取組み (地方創生)

地方公共団体との連携

当行では各地公体とのパートナーシップをこれまで以上に深め、地域経済の活性化に向けた取組みを強化しております。平成26年6月には地域の発展に寄与することを目的として、岡山県と「連携と協力に関する包括協定書」を締結しました。



【主な連携事項】

- ・ 県内への企業誘致の推進及び投資の促進に関すること
- ・ 地域経済活性化に向けた人材交流に関すること
- ・ 災害時支援対策に関すること
- ・ 観光振興に関すること
- ・ 県内企業の海外展開に関すること
- ・ 地域産業の振興及び中小企業等の支援に関すること
- ・ 「晴れの国」のイメージアップの推進及び情報発信に関すること
- ・ 農林水産物のブランド化、6次産業化、販路支援等に関すること

(具体的な取組み事例)・・・企業立地促進融資制度の新設

岡山県との包括協定を機に、岡山県の優れた企業立地環境を整備すべく、「ちゅうぎん晴れの国企業立地融資制度」(総枠500億円)を新設しました。個社別の最優遇金利を適用し、融資期間は最長20年としております。税や補助金等の優遇といった地方公共団体の企業誘致政策とタイアップした融資制度であり、災害に強い土地であること、中国・四国地方の物流拠点としての優位性があることを、積極的に発信していく方針です。



(具体的な取組み事例)・・・移住・定住促進住宅ローン優遇制度の新設

同様に包括協定の一環として、岡山県が取組んでいる移住・定住促進活動に賛同し、県外の方が移住しやすい環境整備の一助として、「岡山県 移住・定住促進住宅ローン優遇制度」を新設しました。



(具体的な取組み事例)・・・人材交流の活発化

平成26年7月より、行員1名を岡山県に出向させたことに引き続き、本年4月より岡山県産業振興財団へ行員を1名出向させ、産学官金の連携を深めています。

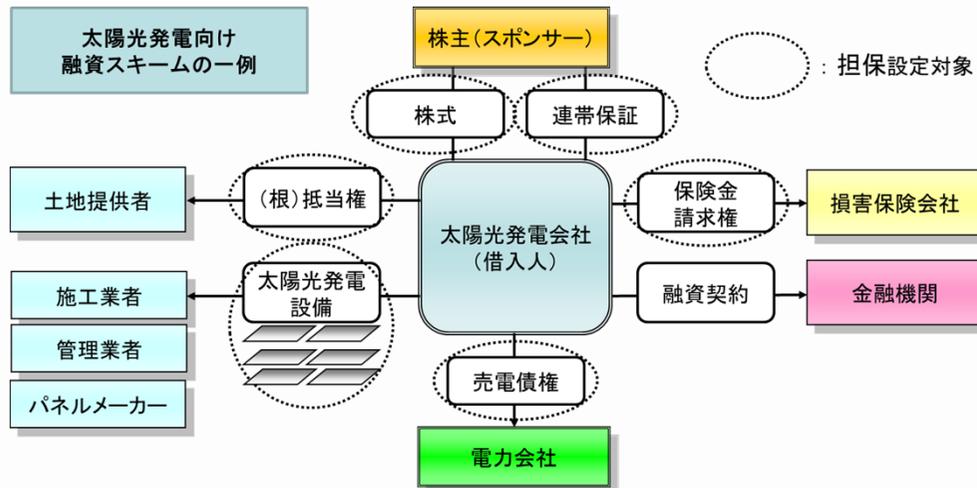
平成26年度の主な取組み (成長分野育成支援)

環境・エネルギー事業への支援強化

震災以降、エネルギー政策の抜本的な見直しが進むなか、当行では、再生可能エネルギー発電事業に参入されるお客さまへの各種情報提供や資金支援等を通じ、再生可能エネルギーの普及促進、環境保全ならびに地域経済活性化に貢献してまいります。

(具体的な取組み事例)・・・資金調達手法の多様化への対応

太陽光発電事業への対応として、プロジェクトファイナンス、ABL融資など多様な資金調達手段をご提案しております。下図はABL等を活用した融資スキームの一例です。



(具体的な取組み事例)・・・木質バイオマス発電に対するシンジケートローン

平成26年7月、真庭バイオマス発電株式会社がおこなう木質バイオマス発電事業に対して、総額19.5億円のシンジケートローンを組成しました。この事業により、新たなバイオマス産業の創出と林業・木材産業の活性化、雇用の創出・拡大、さらには森林機能の回復、循環型社会の形成、中山間地域の活性化など多くの効果が期待できます。

アグリビジネスへの支援強化

農林水産業分野を取り巻く事業環境が大きく変化し、お客さまのニーズが多様化するなか、当行では、従来のファイナンス支援に加え、マッチング支援や6次産業化支援等を通じて、地域経済活性化に向けて取組んでおります。

(具体的な取組み事例)・・・官民ファンドからの出資を活用した6次産業化支援を実施

平成26年8月、官民ファンドである「ちゅうぎんアグリサポートファンド」を通じて、野菜生産農家と加工・流通業者が広域で連携しカット野菜事業をおこなう合弁事業体に1億円の出資をいたしました。

(具体的な取組み事例)・・・「6次産業化セミナー＆交流会」の開催

平成27年3月、日本政策金融公庫と共催で、農林漁業者と商工業者の6次産業化支援を目的に「6次産業化セミナー＆交流会」を開催しました。交流会では、事業者さま同士の情報交換やマッチングに加え、大学や6次産業化サポートセンター等の外部専門機関との相談が行われました。



6次産業化セミナーの様相

第一部 セミナー 13:00~14:45

「他産業との連携による営業戦略の展開
～ 販路拡大とマーケティングを考える～」

講師：公益財団法人 流通経済研究所 主任研究員 折笠 俊輔氏
(講師紹介)
早稲田大学商学部卒業、筑波大学大学院ビジネス科学研究科修士課程修了。精密機械メーカーを経て、2010年より現職。
小売業の購買層データ分析、農産物の物流・マーケティング等を中心領域として、理論と現場の両方の視点から研究、コンサルティング活動に従事。

第二部 交流会 15:00~17:00

交流ブース — 同業者や他の産業者との意見交換・情報交換の場 —

ご自由な意見交換を通じて、将来的な連携の足がかりとして活用ください。
各ブースでは、行員・公庫職員が交流のサポートをいたします。

相談ブース — 岡山県6次産業化サポートセンター、日本公庫、大学 等 —

6次産業化に向けたご相談や、規模拡大・新規事業への取組みなど、お気軽にご相談ください。

平成26年度の主な取組み (成長分野育成支援)

医療・介護事業への支援強化

当行では、医療・介護分野のお客さまに対して、定期的なセミナー開催など、最新の業界情報を発信するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域医療・介護の発展と連携並びにヘルスケア産業の創出・拡大の支援に取り組んでおります。

(具体的な取組み事例)・・・平成26年度に開催した主なセミナー

セミナー名	内容
医療経営戦略セミナー	・平成26年度の診療報酬改定に対する対応策
医療機関の事業承継セミナー	・病医院の事業承継、相続対策
介護経営セミナー	・平成27年度の介護報酬改定 ・介護サービスにおけるリスクマネジメント

(具体的な取組み事例)・・・「地域ヘルスケア産業支援ファンド」への出資

平成26年10月 REVICキャピタルとAGSコンサルティングが運営する「地域ヘルスケア産業支援ファンド」へ出資を行いました。本ファンドは政府より発表された「日本再興戦略(改訂版)」の一環として地域におけるヘルスケア産業の創出・拡大支援を目的に組成されました。本ファンドを活用し事業者への長期安定的な資金支援、経営人材の派遣、全国的なヘルスケア産業の先進的事例を地域へ還元すること等を通じ、医療・介護に関わる事業者の発展と地域経済の活性化に取り組んでまいります。

産学官金連携の強化

当行は岡山大学、岡山県立大学、香川大学と包括協定を締結しており、ものづくり、研究開発に熱心に取り組んでいる企業に対して、技術的な課題解決ニーズを把握し、大学側のシーズとのマッチング活動をおこなっています。

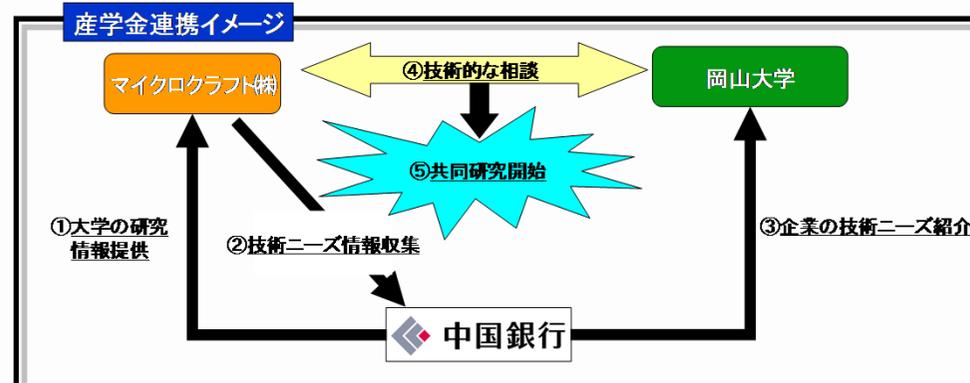
(具体的な取組み事例)・・・お取引先と岡山大学との共同研究をマッチング

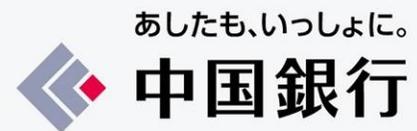
プリント基板検査装置やインクジェット印刷システムの開発を行うマイクロクラフト株式会社の技術的課題解決(独自の最適化アルゴリズム開発)にむけて、当行が岡山大学を紹介し、両者のマッチング支援を行いました。

結果、学術的にも意義のある研究となることが期待されることから、マイクロクラフト株式会社と岡山大学による共同研究が実施されることとなりました。

人材交流の一環として岡山大学より人材を1名受入れしています。

今後もお客さまの技術的な課題解決に向けて、コーディネーターとしての役割を果たし、お客さまと大学との連携を支援してまいります。





株式会社 中国銀行
総合企画部

〒700-8628 岡山市北区丸の内1丁目15番20号
TEL.(086)223-3111

ホームページ <http://www.chugin.co.jp>